

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成18年6月22日(2006.6.22)

【公表番号】特表2002-540814(P2002-540814A)

【公表日】平成14年12月3日(2002.12.3)

【出願番号】特願2000-611075(P2000-611075)

【国際特許分類】

C 12 Q	1/68	(2006.01)
A 61 K	31/713	(2006.01)
A 61 K	35/14	(2006.01)
A 61 K	35/76	(2006.01)
A 61 K	39/395	(2006.01)
A 61 K	48/00	(2006.01)
A 61 P	35/04	(2006.01)
A 61 P	43/00	(2006.01)
C 12 Q	1/04	(2006.01)
G 01 N	33/15	(2006.01)
G 01 N	33/50	(2006.01)
G 01 N	33/543	(2006.01)
G 01 N	33/574	(2006.01)
A 61 K	38/00	(2006.01)

【F I】

C 12 Q	1/68	Z N A A
A 61 K	31/713	
A 61 K	35/14	Z
A 61 K	35/76	
A 61 K	39/395	E
A 61 K	39/395	T
A 61 K	48/00	
A 61 P	35/04	
A 61 P	43/00	1 1 1
C 12 Q	1/04	
G 01 N	33/15	Z
G 01 N	33/50	Z
G 01 N	33/543	5 9 7
G 01 N	33/574	A
A 61 K	37/02	

【手続補正書】

【提出日】平成18年3月29日(2006.3.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】被験体において二次的前立腺腫瘍転移を処置、阻害または予防するための医薬の製造における、f1t-4の発現または活性を阻害する治療有効量の分子の使用であって、ここで、該分子は、タンパク質であって、該タンパク質は、f1t-4のフ

ラグメントを含み、該フラグメントは、少なくとも配列番号2において示されるアミノ酸配列からなり、該タンパク質は、そのリガンドVEGF-Cに結合するf1t-4の競合的インヒビターとして作用する、使用。

【請求項2】 前記タンパク質が可溶性である、請求項1に記載の使用。

【請求項3】 被験体において二次的前立腺腫瘍転移を処置、阻害または予防するための医薬の製造における、f1t-4の発現または活性を阻害する治療有効量の分子の使用であって、ここで、該分子は、核酸分子であって、該核酸分子は、f1t-4のフラグメントをコードするヌクレオチド配列を含み、該フラグメントは、そのリガンドVEGF-Cへのf1t-4結合の競合的インヒビターとして作用する、使用。

【請求項4】 被験体において二次的前立腺腫瘍転移を処置、阻害または予防するための医薬の製造における、f1t-4の発現または活性を阻害する治療有効量の分子の使用であって、ここで、該分子は、アンチセンスオリゴヌクレオチドであって、該オリゴヌクレオチドは、配列番号1に示されるヌクレオチド配列に相補的な少なくとも6つの連続するヌクレオチドからなるヌクレオチド配列を含む、使用。

【請求項5】 前記アンチセンスオリゴヌクレオチドは、ヌクレオチド配列5'-GGCGCCCCGCTGCAT-3'（配列番号3）を含む、請求項4に記載の使用。

【請求項6】 被験体において二次的前立腺腫瘍転移を処置、阻害または予防するための医薬の製造における、f1t-4の発現または活性を阻害する治療有効量の分子の使用であって、ここで、該分子は、f1t-4に結合する抗体またはその一部を含む、使用。

【請求項7】 二次前立腺腫瘍転移を処置、阻害または予防する分子についてスクリーニングするための方法であって、該方法は以下の工程：

f1t-4を発現する前立腺細胞に、候補分子を接触させる工程、および

そのように接触された該細胞におけるf1t-4発現のレベルを、そのようには接触されていないf1t-4を発現する前立腺細胞と比較する工程であって、該非接触細胞と比較して、該接触された細胞においてより低いレベルのf1t-4発現は、該候補分子が二次前立腺腫瘍転移を処置、阻害または予防するにおいて活性を有することを示す、工程、を包含する、方法。

【請求項8】 二次前立腺腫瘍転移を処置、阻害または予防する分子についてスクリーニングするための方法であって、該方法は以下の工程：

候補分子の存在下でf1t-4とVEGF-Cとから形成される複合体、またはf1t-4とVEGF-Dとから形成される複合体のレベルを、該複合体の形成が実施される条件下で測定する工程；および

該分子の非存在下で形成される該複合体のレベルを比較する工程であって、該分子の存在下における該複合体のより低いレベルは、該候補分子が二次前立腺腫瘍転移を処置、阻害または予防するにおいて活性を有することを示す、工程、を包含する、方法。

【請求項9】 二次前立腺腫瘍転移を処置、阻害または予防する分子についてスクリーニングするための方法であって、該方法は以下の工程：

候補分子の存在下でf1t-4とVEGF-Dとから形成される複合体のレベルを、該複合体の形成が実施される条件下で測定する工程；および

該分子の非存在下で形成される該複合体のレベルを比較する工程であって、該分子の存在下における該複合体のより低いレベルは、該候補分子が二次前立腺腫瘍転移を処置、阻害または予防するにおいて活性を有することを示す、工程、を包含する、方法。

【請求項10】 転移性前立腺癌を処置または阻害する方法の効力をモニターする方法であって、該方法は以下の工程：

被検体から得られた前立腺細胞におけるf1t-4の発現または活性のレベルを測定する工程であって、該サンプルは、該方法の適用の後に該被検体から得られ、そして

(a) 該方法の適用前に該被検体から得られたサンプルにおける該レベル、または

(b) 転移性前立腺癌の前処置段階に関連する標準的なレベル、
と比較し、ここで、該方法の適用前に取られた該サンプルにおける f_{1t-4} の発現もしくは活性のレベルまたは該標準的なレベルと比較して、該方法の適用後にとられた該サンプルにおける f_{1t-4} の発現または活性のレベルにおける減少は、該方法が有効であることを示す、工程、
を包含する、方法。